



## 外国出張報告書

平成 27 年 4 月 3 日

1. 出張国名      ガーナ
2. 出張月        平成 27 年 3 月
3. 出張目的      タマレの実証圃場調査：B
4. 成果の概要

ガーナ国タマレで造成中の実証試験圃場で実施する予定の試験設計に関する情報収集と共同研究相手となるサバンナ農業研究所（SARI）職員との打ち合わせを行うため、出張した。

SARI では農学研究者及び育種担当の研究者に面会し、実証試験圃場で実施する予定の遺伝資源評価試験について打ち合わせを行った。植物の形態及び収量調査の実施について相談したところ、育種担当の研究者が実施可能とのことであった。

SARI の職員を伴って実証圃場を訪問したところ、親池となる既存のため池から子池となる貯水池への水路、貯水池、圃場への給水路及び排水路はほぼ完成していた。また、圃場の区割りもほぼ終わっており、圃場の均平作業工事及び圃場外部から圃場内への雨水浸入を遮るための排水溝の造成工事が進められていた。現地の状況を観察しながら栽培試験を行う場合の注意点について話し合った結果、鳥害、ネズミ害及び家畜害が想定されるが、排水溝により家畜侵入は限られるので、監視人を置くのが良いのではないかと結論になった。